

三崎魚市場に水揚げされた魚類— XVII

山田 和彦・工藤 孝浩

Kazuhiko Yamada and Takahiro Kudo:
Fishes on Misaki Fisheries Market Landed from Sagami Bay, XVII

Abstract. In our study on fish fauna of Sagami Bay since 1986, 574 species have been recorded on the basis of specimens landed on Misaki Fish Market from Sagami Bay. In this paper, fourteen species are additionally recorded. Among them, *Scomberoides tol*, *Pterocaesio digramma*, *Evoxymetopon poeyi* and *Arothron manilensis* are new to the bay.

はじめに

筆者らは、相模湾の魚類相を明らかにするため、神奈川県三浦市にあるみうら漁業協同組合三崎沿岸販売所（以下、三崎魚市場）において、三浦半島周辺海域で漁獲された漁獲物の調査を、1986年より継続的に行っている。これまで574種を報告した(山田・工藤, 2011)が、本報告では新たに記録された14種について報告する。

調査方法

三崎魚市場に水揚げされる魚類のうち、相模湾で採集されたものについて、魚種、採集場所、採集方法を記録した。ここでいう相模湾とは、伊豆半島石廊崎と房総半島洲崎を結んだ線以北のうち、観音崎—富津岬以北の東京湾を除く海域とする。調査期間は2010年11月から2011年10月までの1年間である。1ヶ月に1回以上、合計29回の調査を行った。初記録となる魚種、現場で同定困難な魚種については採集し、写真撮影後、10%ホルマリンで固定した。標本は横須賀市自然・人文博物館魚類資料(YCM-P)として登録した。

調査結果

新たに記録された魚種について、通し番号、標準和名、学名、図版番号、採集年月日、採集場所および採集方法、体長(SL)か全長(TL)または体盤幅(DW)、登録番号ならびに分布状況の順に記載する。和名、学名および一般的な分布記録は中坊 編(2000)に従った。

575. ギンザメ *Chimaera phantasma* (図 1-1)

2011年1月12日, 三戸定置網, 764mmTL, YCM-P44647.

北海道からフィリピンに分布し、通常水深150m~650mに生息している(山田ほか, 2007)。相模湾では長井沖(清水・永田, 1982)、伊豆海洋公園(瀬能・益田, 1998)などから記録がある。三浦半島南端に位置する城ヶ島では、11月から3月に行われるヒラメ網(底刺網の一種)でふつうに漁獲されている(山田, 未発表)。城ヶ島におけるヒラメ網は、水深60~100mに設置されていて、ギンザメの生息水深としては浅い。伊豆半島南部の下田周辺でも12月から6月に浅海域で漁獲されており(山田ほか, 2007)、冬から春にかけて本種が浅い水深帯へ移動していることが考えられる。今回、定置網で漁獲されたことも、冬季の浅場への移動のためと考えられる。

576. アユ *Plecoglossus altivelis altivelis* (図 1-2)

2011年9月6日, 毘沙門定置網, 172mmSL, YCM-P44962.

北海道西部から九州南部、朝鮮半島からベトナム北部に分布する。相模湾では三浦半島南西部沿岸(工藤・岡部, 1991)、天神島周辺(林ほか, 2000)から記録がある。年魚として知られ、秋に河川の下流域でふ化した稚魚は、海へ下り春に川へ遡上するまで沿岸域で過ごす。三浦半島には大きな河川がないが、冬季には城ヶ島や油壺の岸近くでアユの稚魚を見ることができ(山田, 未発表)。今回の個体は、体側に橙色の婚姻色が出ている成魚であり、海域に生息していたものではない。数日前の大雨があったため、本来生息していた河川から押し流されてきたものと考えられる。

577. ホシノエソ *Synodus hoshinonis* (図 1-3)

2011 年 1 月 5 日, 毘沙門定置網, 186mmSL, YCM-P44641.

本州中部からアラフラ海に分布する。相模湾では三浦半島南西部(岡部・工藤, 1993), 熱海(瀬能ほか, 1998), 佐島周辺(林ほか, 2000), 波佐間(萩原・木村, 2006)から記録がある。

578. ミズヒキミノカサゴ *Pteroris mombasae* (図 1-4)

2010 年 12 月 6 日, 毘沙門定置網, 55mmSL, YCM-P44633.

本標本はネットタイミノカサゴ *P. antennata* に酷似するが、背鰭が 13 棘 10 軟条 (vs. ネットタイミノカサゴでは通常 12 棘 11 軟条), 胸鰭軟条数が 18 (通常 17), 胸鰭軟条に赤褐色の縞模様がある(軟条は一樣に赤色または白色)という特徴が、松沼・本村(2011)が示したミズヒキミノカサゴの記載や図とよく一致した。本種は房総半島以南の南日本からインド・太平洋に分布し、相模湾では伊豆海洋公園と洲崎(松沼・本村, 2011), 波佐間(松沼ほか, 2011)から記録がある。本種はこれまでネットタイミノカサゴと混同されていたが、黒潮の影響をより強く受ける地域に出現する傾向が指摘されており(松沼ほか, 2011), 相模湾に暖水の波及があったものと思われる。

579. ミナミイケカツオ *Scomberoides tol* (図 1-5)

2011 年 10 月 18 日, 毘沙門定置網, 138mmSL, YCM-P44998.

本州中部以南のインド・西太平洋に分布する。相模湾からは初記録である。近縁なイケカツオ *S. lysan* は、三浦半島周辺の定置網でもしばしば漁獲されている(山田・工藤, 2001, 2002)。ふつう温暖海域に生息するため、相模湾に暖水の波及があったものと思われる。

580. タカサゴ *Pterocaesio digramma* (図 1-6)

2010 年 12 月 5 日, 三戸・諸磯定置網, 64mmSL, YCM-P44635.

本州中部以南の西太平洋に分布する。相模湾からは初記録と思われる。ふつう温暖海域に生息するため、相模湾に暖水の波及があったものと思われる。近縁のニセタカサゴ *P. marri* は、三浦半島沿岸の定置網で、秋に度々漁獲されている。2011 年 9 月から 10 月にかけては、1 個体から数個体が連続して漁獲された。

581. マナガツオ *Pampus punctatissimus* (図 1-7)

2011 年 8 月 7 日, 藤沢沖定置網, 約 27cmSL.

本州中部から東シナ海に分布する。相模湾からは天神島(林・伊藤, 1974), 西湘地区大型定置網(柴田, 1979)から記録がある。瀬戸内海から東シナ海では多獲されるが相模湾での記録は少なく、本種の相模湾への回遊はきわめて稀と思われる。数日後にもう 1 個体漁獲されたが、8 月上旬に黒潮分流の波及があったことが影響していると考えられる。残念ながら標本は得られなかった。

582. コバンヒメジ *Parupeneus indicus* (図 1-8)

2010 年 12 月 5 日, 藤沢沖定置網, 98mmSL, YCM-P44639.

本州中部以南のインド・西太平洋に分布する。相模湾では竜宮島(松岡, 1972), 天神島(林・伊藤, 1974), 西湘(林・西山, 1980), 田ノ浦(東ほか, 1989), 芝崎(萩原・長谷川, 1990), 三浦半島南西部(工藤・岡部, 1991), 油壺(瀬能, 2003)から記録がある。城ヶ島では、例年 7 月から 11 月にかけて、他のヒメジ類やベラ類と群れを作って索餌するのが観察できる(山田, 未発表)。沿岸の浅所にすむので、ふつう定置網には入網しない。

583. ボウズハギ *Naso thinoides* (図 1-9)

2010 年 12 月 5 日, 毘沙門定置網, 73mmSL, YCM-P44637.

伊豆半島以南のインド・西太平洋に分布する。相模湾では波佐間(萩原・木村, 2005), 伊豆大島(Senou *et al.*, 2006)から記録がある。サンゴ礁域に生息するので、暖水の波及が影響していると考えられる。

584. ヒレナグユメタチ *Evoxymetopon poeyi* (図 1-10)

2011 年 4 月 11 日, 布良瀬水深 75 m, 釣り, 1,430mmSL, YCM-P44938.

四国沖からインド洋に分布し、大陸棚から陸棚斜面の水深 200 ~ 350 m に生息する(山田ほか, 2007)。本標本は、東京湾口で操業する底魚一本釣り漁の漁船により釣獲された。相模湾初記録である。

585. アオサハギ *Brachaluteres ulvarum* (図 1-11)

2010 年 12 月 6 日, 毘沙門定置網, 45mmSL, YCM-P44634.

千葉県から長崎県に分布する。相模湾では竜宮島(松岡, 1972), 天神島(林・伊藤, 1974), 小田和湾(清水, 1979), 田ノ浦(東ほか, 1989), 芝崎(萩原・長谷川, 1990), 三浦半島南西部(工藤・岡部, 1991), 熱海(瀬能ほか, 1998), 油壺(古田土, 2002)などから記録がある。内湾のアマモ場などに生息するため、定置網

図 1 (右). 1 : ギンザメ *Chimaera phantasma*, YCM-P44647, 764mmTL ; 2 : アユ *Plecoglossus altivelis altivelis*, YCM-P44962, 172mmSL ; 3 : ホシノエソ *Synodus hoshinonis*, YCM-P44641, 186mmSL ; 4 : ミズヒキミノカサゴ *Pteroris mombasae*, YCM-P44633, 55mmSL ; 5 : ミナミイケカツオ *Scomberoides tol*, YCM-P44998, 138mmSL ; 6 : タカサゴ *Pterocaesio digramma*, YCM-P44635, 64mmSL ; 7 : マナガツオ *Pampus punctatissimus*, 約 27cmSL ; 8 : コバンヒメジ *Parupeneus indicus*, YCM-P44639, 98mmSL ; 9 : ボウズハギ *Naso thinoides*, YCM-P44637, 73mmSL ; 10 : ヒレナグユメタチ *Evoxymetopon poeyi*, YCM-P44938, 1,430mmSL ; 11 : アオサハギ *Brachaluteres ulvarum*, YCM-P44634, 45mmSL ; 12 : サザナミフグ *Arothron hispidus*, YCM-P44935, 223mmSL ; 13 : スジモヨウフグ *Arothron manilensis*, YCM-P44941, 195mmSL ; 14 : クマサカフグ *Lagocephalus lagocephalus*, YCM-P44942, 298mmSL.



で漁獲されることは稀である。

586. サザナミフグ *Arothron hispidus* (図 1-12)

2010 年 11 月 18 日, 毘沙門定置網, 223mmSL, YCM-P44935.

房総半島以南のインド・太平洋に分布する。相模湾では竜宮島(松岡, 1972), 天神島(林・伊藤, 1974), 三浦半島南西部(工藤・岡部, 1991; 瀬能ほか, 1998), 波佐間(萩原・木村, 2006) から記録がある。

587. スジモヨウフグ *Arothron manilensis* (図 1-13)

2011 年 10 月 13 日, 毘沙門定置網, 195mmSL, YCM-P44941.

駿河湾以南のインド・西太平洋に分布する。相模湾からは初記録である。熱帯性のフグで、暖流の波及が影響したものと考えられる。

588. クマサカフグ *Lagocephalus lagocephalus* (図 1-14)

2011 年 10 月 18 日, 藤沢沖定置網, 298mmSL, YCM-P44942.

相模湾以南のインド・西太平洋に分布する。相模湾では佐島(林・伊藤, 1974), 城ヶ島(工藤・山田, 2001), 館山湾(萩原・木村, 2005) から記録がある。本種は生時、背面が青い。これは、ヨシキリザメやカツオ・マグロ類と同様に外洋表層での適応と考えられる。

おわりに

本報告を作成するにあたり、標準登録の便を図っていただいた横須賀市自然・人文博物館の萩原清司氏、試料収集にご協力いただいた丸夕丸、丸共丸、共栄丸、諸磯丸、万七丸、三崎沿岸漁業協同組合ほかの方々に深く感謝する。

引用文献

- 萩原清司・長谷川孝一, 1990. 葉山町芝崎周辺の沿岸魚類. 神奈川自然誌資料, (11): 103-110.
- 萩原清司・木村喜芳, 2005. 横須賀市自然・人文博物館所蔵魚類資料目録 (IV) — 相模湾海洋生物研究会収集館山湾波佐間産魚類資料目録 —. 横須賀市博物館資料集, (29): 1-34.
- 萩原清司・木村喜芳, 2006. 波佐間周辺海域の魚類相. 国立科学博物館専報, (41): 351-387.
- 林 弘章・萩原清司・木村喜芳, 2000. 天神島・笠島・および芦名オオツブ根周辺の浅海域魚類目録. 相模湾海洋生物研究会 編, 芦名周辺サンゴ類生息状況調査報告書, pp.41-63. 相模湾海洋生物研究会, 横須賀.
- 林 公義・伊藤 孝, 1974. 横須賀市佐島, 天神島・笠島沿岸の魚類. 横須賀市博物館雑報, (20): 37-50.
- 林 公義・西山喜徳郎, 1980. 西湘定置網で漁獲された魚類. 神奈川自然誌資料, (1): 15-27.
- 東 祥三・林 公義・長谷川孝一・足立行彦・萩原清司, 1989. 伊豆半島須崎, 田ノ浦湾周辺海域の魚類. 日本大学農獣医学部学術研究報告, (46): 175-185.
- 古田土裕子, 2002. 油壺の海. *I. O. P. Diving News*, 13(6): 6-7.
- 工藤孝浩・岡部 久, 1991. 三浦半島南西部沿岸の魚類. 神奈川自然誌資料, (12): 29-37.
- 工藤孝浩・山田和彦, 2001. 三浦半島南西部沿岸の魚類 -IV-. 神奈川自然誌資料, (22): 33-42.
- 松沼瑞樹・藍澤正宏・桜井 雄・本村浩之, 2011. ミズヒキミノカサゴ *Pterois mombasae* (フサカサゴ科) の屋久島からの記録および国内におけるミズヒキミノカサゴとネッタイミノカサゴ *P. antennata* の分布状況. *Nature of Kagoshima*, 37: 3-8.
- 松沼瑞樹・本村浩之, 2011. ミノカサゴ亜科魚類ミズヒキミノカサゴ (新称) *Pterois mombasae* の日本からの初記録および近縁種ネッタイミノカサゴ *P. antennata* との形態比較. 魚類学雑誌, 58(1): 27-40.
- 松岡玳良, 1972. 伊豆下田白浜竜宮島付近の磯に見られる魚類. 静岡県水試研究報告, (5): 89-111.
- 中坊徹次 編, 2000. 日本産魚類検索: 全種の同定, 第2版. 1748pp. 東海大学出版会, 東京.
- 岡部 久・工藤孝浩, 1993. 三浦半島南西部沿岸の魚類 - III. 神奈川自然誌資料, (14): 43-47.
- 瀬能 宏, 2003. 油壺の海: ヒメジの仲間たち. *I. O. P. Diving News*, 14(5): 7.
- 瀬能 宏・牧内 元・武谷 洋, 1998. 魚類写真資料データベース (KPM-NR) に登録された水中写真に基づく熱海産魚類目録. 神奈川自然誌資料, (19): 19-28.
- 瀬能 宏・益田 一, 1998. 伊豆海洋公演産魚類目録 (1) — 軟骨魚類. *I. O. P. Diving News*, 9(11): 2-7.
- Senou, H., K. Matsuura & G. Shinohara, 2006. Checklist of fishes in the Sagami sea with zoogeographical comments on shallow water fishes occurring along the coastlines under the influence of the Kuroshio current. *Memoires of the National Science Museum, Tokyo*, (41): 389-542.
- 柴田勇夫, 1979. 神奈川県海域の魚類相及び種別研究の現状. 神奈川県水産試験場 編, 相模湾資源環境調査報告書 I, pp.15-25, 神奈川県水産試験場, 三浦.
- 清水詢道, 1979. 小田和湾の藻場の魚類. 神奈川県水産試験場 編, 相模湾資源環境調査報告書 II, pp.187-191, 神奈川県水産試験場, 三浦.
- 清水詢道・永田 知, 1982. 長井沖人工漁礁漁場の魚類相. 神奈川県水産試験場研究報告, (4): 1-8.
- 山田和彦・工藤孝浩, 2001. 三崎魚市場に水揚げされた魚類 - X. 神奈川自然誌資料, (22): 43-50.
- 山田和彦・工藤孝浩, 2002. 三崎魚市場に水揚げされた魚類 - XI. 神奈川自然誌資料, (23): 9-11.
- 山田和彦・工藤孝浩, 2011. 三崎魚市場に水揚げされた魚類 - XVI. 神奈川自然誌資料, (32): 123-126.
- 山田梅芳・時村宗春・堀川博史・中坊徹次, 2007. 東シナ海・黄海の魚類誌. 1262pp. 東海大学出版会, 東京.

山田和彦: 相模湾海洋生物研究会

工藤孝浩: 神奈川県水産技術センター